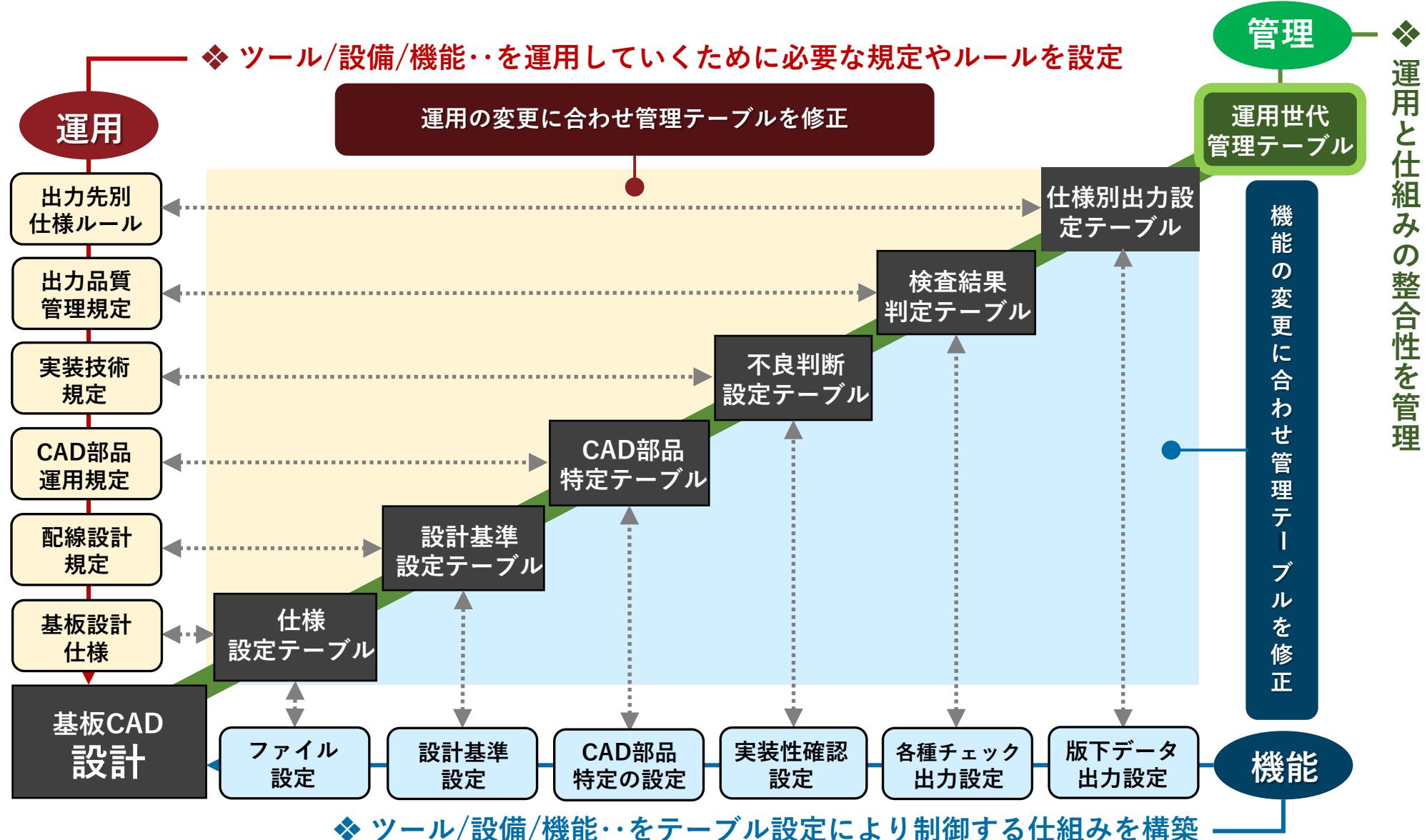


# 技術や運用などの知見を要する判断業務をIT化する際の必須機能 ITの仕組みと運用を世代管理する仕組み (電記設計支援のサンプル)



## ◆ 技術/規定/運用/設備能力・・他の 知見を基にした判断業務 をIT化するには 運用世代の管理 が必須

### 【製品に対する差別化要求】

----- 常に最新技術を導入して他社競争力としたい

----- 技術に関する有効な支援機能は、技術と共に導入していきたい

----- 投資対効果の大きい設備を積極的に導入したい

----- 規定化が必要と判断したものは、できるだけ即時対応したい

----- IT化された処理を除き、運用が変わるところは必ずルール化したい

【変化点】	【世代管理】						【移行管理】		
	技術	機能	設備	規定	運用ルール	運用世代	開発部門 1	開発部門 2	開発部門 3
1	1	1	1	1	1	11111	11111	11111	11111
2	2	1	1	2	2	21122	21122	11111	21122
3	3	2	2	2	2	32222	32222	11111	21122
4	4	3	2	3	3	43233	32222	11111	43233
5	5	3	2	4	3	53243	43233	53243	53243

### 【製品コンセプトにより異なる部門の対応】

競争力に繋がる環境を積極的に利用する必要がある部門

工数を掛けず改善の段階を見極めて移行したい部門

担当している製品の開発に効果が高い環境を選択して移行したい部門